

福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 12 月 29 日
東京電力株式会社

< タービン建屋地下のたまり水の処理 >

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・12/27 10:37 第二セシウム吸着装置を起動。10:43 定常流量に到達。
- ・12/29 10:12 定例パトロール中の当社社員が、淡水化装置(逆浸透膜型)濃縮水貯蔵エリア付近のホースに微小な穴があいており、水が漏れいしていることを確認。当該ホースは、ろ過水タンクから蒸発濃縮装置のボイラー設備の受けタンクへろ過水(淡水)を移送するホースであり、漏れいした水はろ過水(淡水)であることを確認。念のため、漏れいした水の核種分析(ガンマ線核種)を行ったところ、検出限界値未満であることを確認。
その後、ろ過水(淡水)の移送を停止し、テープにより漏れい箇所の止水処置を行い、現在、ろ過水(淡水)の漏れいはにじみ程度(2分に1滴程度)。今後、ホースの交換を実施する予定。なお、漏れいが発生している周辺には側溝などはなく、漏れたろ過水(淡水)が周辺へ拡大することはない。

ろ過水(淡水):坂下ダムを水源とした水

本資料にて、「12/28 10:12 定例パトロール中の...」と記載しておりましたが、正しくは「12/29 10:12 定例パトロール中の...」です。訂正し、お詫びいたします。

[貯蔵設備]

- ・6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・12/28 15:22 ~ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・12/28 15:32 ~ 12/29 9:03 移送実施
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・12/29 移送予定なし

移送先	移送先の水位状況 (12/29 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 2,412 mm(水位上昇累計:3,629 mm) 12/28 7:00 から 184 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 3,364 mm(水位上昇累計:4,090 mm) 12/28 7:00 から 164 mm 上昇

【その他移送】・12/27 10:14 ~ 15:18 集中廃棄物処理施設においてサイトバンカ建屋からプロセス主建屋へ移送実施。

トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (12/29 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. < + 850 mm (12/28 7:00 と同じ)	O.P.+ 2,858 mm (12/28 7:00 から 22 mm 上昇)	O.P.+ 4,246 mm (12/28 7:00 から 3 mm 上昇)
2号機	O.P.+ 3,172 mm (12/28 7:00 から 64 mm 下降)	O.P.+ 3,149 mm (12/28 7:00 から 60 mm 下降)	O.P.+ 3,293 mm (12/28 7:00 から 38 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,170 mm (12/28 7:00 から 18 mm 下降)	O.P.+ 3,104 mm (12/28 7:00 から 54 mm 下降)	O.P.+ 3,369 mm (12/28 7:00 から 42 mm 下降)
4号機	-	O.P.+ 3,125 mm (12/28 7:00 から 1 mm 下降)	O.P.+ 3,147 mm (12/28 7:00 から 1 mm 下降)

< 放射性物質のモニタリング >
 海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約 30m	12/28	8:35	ND	ND	0.02
福島第一 1~4号機放水口南側約 330m	12/28	8:15	ND	0.02	0.02
福島第二 3,4号機放水口付近	12/28	8:15	ND	ND	0.01
福島県相馬市沖合約 5km(上層)	12/27	7:15	ND	ND	0.01

・その他、福島第一原子力発電所沿岸1地点(12/28採取分)、福島県沖合 11 地点(12/27採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

< 使用済燃料プールの冷却 > (12/29 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	11.5
2号機	循環冷却システム	運転中	13.4
3号機	循環冷却システム	停止中	12.4
4号機	循環冷却システム	運転中	22

冷却を一時停止した際(12/29 10:23)の温度

[3号機]・12/29 10:23~12:09 使用済燃料プール循環冷却システムの1次系循環ポンプの吸込圧力に低下傾向が見られることから、同ポンプの入口側ストレーナをフラッシングするため、当該システムを一時停止。(冷却停止時温度約 12.4、冷却再開時温度約 12.5)

[4号機]・11/29~ 使用済燃料プールの塩分除去のため、イオン交換装置の運転を開始。

< 原子炉压力容器への注水・原子炉の状況 > (12/29 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約 4.3 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約 1.9 m ³ /h)	27.5	27.9	106.6 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約 1.8 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約 7.0 m ³ /h)	54.3	57.1	108 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約 3.0 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約 6.0 m ³ /h)	48.6	57.8	101.6 kPaabs

[4号機][5号機][6号機]・特に変化なし

< その他 >

・10/7~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。

・12/28 9:00~10:00 12/22 より温度計指示値の上昇が見られていた1号機原子炉格納容器雰囲気温度の1点について、計器の健全性等の確認を実施し、問題がないことを確認。なお、他の原子炉格納容器雰囲気温度の指示値に上昇は見られていない。12/22 時点:約 38、12/27 19:00 時点:約 49

11:00~12:15 12/22 以前の状態に戻して状況を監視するため、原子炉格納容器への窒素封入量を約 8 m³/h から約 18 m³/h、格納容器ガス管理システムからの排気量を約 23 m³/h から約 30 m³/h へそれぞれ調整。

温度上昇については最高約 54.6 (12/28 18:00 時点)まで上昇したが、その後、約 52.3 まで下降(12/29 10:00 時点、13:00 時点)。

なお、他の2点についても緩やかな温度上昇が確認されたが、現在は安定傾向を示している。

2点目...(最高値)約 34.9 (12/28 21:00 時点) 約 34.8 (12/29 13:00 時点)

3点目...(最高値)約 39.2 (12/29 1:00 時点) 約 39.2 (12/29 13:00 時点)

今後も継続して温度上昇の原因調査とプラント状況の確認を行う予定。